■「家族との調和」が運命改善の
スタートでありゴールである■

・家族に「還現」すること
（「還元」ではない）

・追求　追窮　感じる　観じる

・前回の【お詫びと感謝】に通じる

・仕事は成功しても家族が不調和なら、
それは「自然の仕組み」に反している。

・家庭が本当に調和していれば、
仕事が不調和になることはない。
順番としては家庭が先。

・「家族に還現」とは、自分だけの
成功と成長を求めるのではなく、
家族が一緒になって成功と成長を
分かち合っていくということ。
↓
このとき、振動波（波動）は
より高次元に向かっていくと
『波動の法則』は説く。

・ある「社会的成功者」のご子息は
引きこもり。社会人への拒否反応。
世間的には「素晴らしい経営者」。
本人は決して幸せではない。
「本当の愛がわからない」孤独感。

・生まれた家族は、運命の絶対的原点。

・いかなる家族であっても、
エクサピーコ（≒魂）が両親と
合意しなければ生まれることはない。

・その家族に生まれたことによって、
学ぶべきことが必ずある。

・親は「血を分けた他人」である。
「魂の性格」が違うため、親子関係は
なかなかうまくいかないことが多い。
↓
だからこそ学びが多い。
「仲良し家族」だと学びは少ない。

※親との葛藤を経て子が成熟する場合は
決して少なくない。もちろん発達を
阻害する場合もあるので一概に言えないが。

・親子関係、ご先祖の関係が調和している
ほど、運命はより輝いてくる。
⇨『オーラリーディング』で観る。

※私は親との関係が最悪だったとき、
交通事故によって鉄槌を喰らわされた。

・ある経営者（教育関係）
「経営の成功の秘訣は夫婦円満である」
↓
この経営者の「夫婦の波動」は不調和
波動（オーラ）は絶対ごまかせない

（余談だが、セミナーはある程度ごまかせる）

・親やご先祖との調和とは
「親と仲良くすること」とは限らない。

・是非善悪を超え、自我の判断を超え、
「この親ありて我が命あり」という
真実をどれほど深く噛み締められるか？

・いかなる「地上的理由」があろうと、
家族と不調和な場合、運命は開かない。
たとえ経済的、社会的成功はあっても、
家庭面で必ず足を掬われる。

・親孝行をしているように見えても、
親子関係が良好に見えても、
必ずしも調和しているとは限らない。
↓
向き合っていない。正面衝突を避ける
ための「エゴの戦略的仲良し」を疑え。
「友達親子」は本当に調和しているか？
『可愛い子には旅をさせよ』の真実味。

・離婚しても死別しても
親子関係や夫婦関係は続いていく。

※離婚して20年ほど経っているのに
いまだに相手の悪口を言っている人。
某宗教団体の信仰をしていたが、
穴の空いたバケツのように
生命エネルギーが漏れていく。

・パートナーシップがあってもなくても
誰でも家族がいることは絶対的事実。
たとえ捨て子であっても両親はいる。

・「この世に生を享けた以上の大恩なし」
「人身うけがたし」
この真実をいかなる深みで悟れるか？

・『波動の法則』の決め台詞

〈理解ではない。気づくしかない〉